

衆議院法務委員会ニュース

平成 25.11.15 第 185 回国会第 7 号

11 月 15 日（金）、第 7 回の委員会が開かれました。

1 民法の一部を改正する法律案（内閣提出第 20 号）

・谷垣法務大臣、江藤農林水産副大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

土 屋 正 忠君（自民）

- ・平成 25 年 9 月 4 日最高裁判所大法廷決定の中でいわれている非嫡出子とは、いわゆる事実婚の子及び不貞の子の両方を含むのか、伺いたい。
- ・嫡出子と非嫡出子の相続分を同等にすることに関して、世代間での意見の相違や様々な国民感情が存在していることについて、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・民法第 900 条第 4 号ただし書の規定を違憲とした最高裁判所の決定は重いですが、民法改正に当たっては、国民感情に根差した法制整備を行うべきであるという意見について、法務大臣の感想を伺いたい。

宮 崎 政 久君（自民）

- ・今回の法改正により、家族の在り方が棄損されるのではないかという意見について、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・複雑な調整の必要な私法の領域に、最高裁判所が踏み込んで憲法判断をすべきではないという意見について、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・今回の法改正を行わずに違憲状態を放置したとき、どのような弊害が生じるのか、また、下級審で既に最高裁判所の決定を基に判断されているのか、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・違憲判断の遡及効を制限する 9 月 4 日の最高裁判所の決定について、本法律案の経過措置に反映させることを検討したのか、伺いたい。

遠 山 清 彦君（公明）

- ・本法律案の提出理由及び子供をその出生、地位等により差別しないという理念について、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・嫡出子と非嫡出子の法定相続分を平等にした場合、法律婚制度を崩壊させることになり、また、不貞行為が増えるとの懸念について、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・国営諫早干拓事業の潮受け堤防開門を巡り、相反する司法判断が示されたが、この件に関する今後の政府の対応方針について、農林水産副大臣の見解を伺いたい。